

DAISUI REPORT

第87期株主通信

(2021年4月1日～2022年3月31日)





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第87期(2021年4月1日～2022年3月31日)の株主通信をお届けし、当社グループの事業状況等をご報告申し上げます。

代表取締役社長執行役員 **山橋 英一郎**

▶第87期株主通信の発刊にあたり

株主の皆様へのIR活動の一環として、前期に株主通信を創刊しました。このたび第87期株主通信が完成しましたので、皆様のお手許にお届けいたします。第87期の経営成績に加え、当社グループの環境・社会への取り組み状況等を掲載しております。ご一読いただき、当社グループへの理解を深めていただけると幸いです。

▶当連結会計年度の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により経済活動が制限される状況となりました。感染者数の減少した時期においては経済活動の制限が緩和され、消費が回復に向かう動きもありました。しかし、変異株の出現等により感染者が増加に転じると、再び消費は減退しました。また第4四半期(1月～3月)においては、ウクライナ情勢の緊迫化に伴い原材料価格が高騰するなど、先行きは不透明な状況にあります。

当水産流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が一時的に改善された時期もありましたが、外食関係の消費は依然低迷しており、また、量販店を中心とした小売業も前期のような力強さを欠く状況となりました。天然水産資源の減少、物流コストの増大に加え、諸外国での個人消費の回復及び日米の金利差による円安の加速等もあり、魚価は高値圏が続き、大変厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当連結会計年度の経営成績は、売上高は収益認識会計基準等の適用もあり前期との単純比較はできませんが、旧基準による比較ではほぼ前期並みとなりました。一方、損益面では上述のマイナス要因の影響で苦戦を強いられました。

▶当連結会計年度の取り組み

当社グループを取り巻く経営環境は、大変厳しい状況が続いております。新型コロナウイルス感染症の影響により、量販店を中心とする内食関係は底堅い需要があったものの、外食関係の需要が落ち込み、高価格帯商品が販売不

振となりました。また、サバ、サンマ、イカ等大衆魚は漁獲量の低迷により、ブリ、タイ等養殖魚は在池量の減少により魚価が上昇しました。輸入魚も円安や海外加工場の稼働低下、海上運賃の高騰等により、主要魚種である鮭鱒、カニ、タコ、スリミ等の魚価は引き続き高値圏で推移しております。

このような状況下にはありますが、「安全・安心な水産物を安定供給する」という当社の社会的使命を果たすとともにステークホルダーの皆様の期待に応えるべく、次のような取り組みを進めております。

新型コロナウイルス感染症予防策については、可能な限りテレワークやWeb会議を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症対策本部の指示のもと徹底した感染対策を実施し、感染者を最小限に抑え、安定した業務運営を維持できております。

サステナビリティへの対応については、企業理念のもと「持続可能な社会への貢献」と「地域に根ざしたCSR活動」を推進しております。詳細につきましては、5ページの「環境・社会への取り組み」に掲載しておりますのでご覧ください。

株主をはじめとしたステークホルダーの皆様との対話ツールとしては、株主通信の創刊及びホームページのリニューアルを実施しました。有益な情報の発信に努めるとともに、当社グループへの理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。ホームページにつきましては、4ページの「ホームページのご紹介」にも詳細な情報を掲載しております。

2022年4月、株式会社東京証券取引所において新たな市場区分がスタートし、当社は「スタンダード市場」へ移行しました。引き続き一層のガバナンス強化を図るととも

に、企業価値の向上に努めてまいります。

また、2022年度より新人事賃金制度を導入しました。社員一人一人の知識、技能、経験、強みは様々です。それぞれの社員が最大限に力を発揮し、組織に貢献し、評価され、成長しながら将来のキャリアプランを描けるようになるのが目的です。この新制度を早期に定着させ、成長につなげるため、各階層にあった教育研修を実施してまいります。

▶配当について

当社の配当政策に関する基本方針は、業績が消費動向に大きく影響される特質を踏まえたうえで、将来に向けた安定的な収益基盤づくりのために内部留保の充実を図り、株主の皆様に安定した配当を継続的に行うこととしております。

剰余金の配当回数は期末配当の年1回を基本的な方針としており、上記政策に基づき取締役会で配当を決議しております。

当期の期末配当につきましては、上記方針のもと、当期の業績や今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、1株につき4円とすることを決定いたしました。

2021年度は、前述のとおり大変厳しい決算となりました。

2022年度は全社一丸となり、業績向上に向けて邁進しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

連結財務諸表（要約）

▶ 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前期末 (2021年3月31日現在)	当期末 (2022年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	14,559	15,715
固定資産	5,605	5,355
有形固定資産	2,717	2,675
無形固定資産	77	89
投資その他の資産	2,810	2,591
資産合計	20,165	21,070
負債の部		
流動負債	9,329	9,747
固定負債	3,162	3,769
負債合計	12,491	13,516
純資産の部		
株主資本	6,440	6,379
その他の包括利益累計額	1,233	1,174
純資産合計	7,673	7,554
負債・純資産合計	20,165	21,070

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	前 期 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)	当 期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)
売上高	114,239	88,788
売上原価	107,443	82,854
売上総利益	6,796	5,933
販売費及び一般管理費	6,877	6,123
営業利益	△81	△190
営業外収益	253	279
営業外費用	126	208
経常利益	46	△119
特別利益	617	180
特別損失	7	20
税金等調整前当期純利益	655	40
法人税、住民税及び事業税	71	24
法人税等調整額	△68	35
親会社株主に帰属する当期純利益	653	△18

（注）当社グループは、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当期の期首から適用しております。これに伴い、当期における売上高は、前期と比較して大きく減少しております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

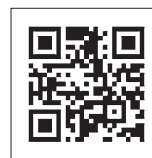
（単位：百万円）

科 目	前 期 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)	当 期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	285	△2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	338	280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194	428
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	429	△1,292
現金及び現金同等物の期首残高	2,945	3,375
現金及び現金同等物の期末残高	3,375	2,083

ホームページのご紹介

このたび当社ホームページのリニューアルを実施しました。最新のトピックスをご提供できるようになったほか、市場情報ページやCSRページの新設、英語ページの内容充実など、以前よりも情報発信強化に注力しております。

今回は、株主の皆様特にご覧いただきたいポイントをご紹介します。



<https://www.daisui.co.jp>

大水

検索



最新トピックスは、「お知らせ」で確認できます。社内外のイベントの様子から、当社の目利きのこだわりが詰まったお魚コラムまで、様々な記事をアップしております。また「ピックアップ」には、「お知らせ」の中でも特に読んでいただきたい記事を画像付きで載せております。



株主優待制度のご紹介のために新設したページです。対象となる株主様の条件、内容、贈呈の時期を掲載しております。ページ下部には、商品一覧カタログを掲載しており、株主優待品の内容を写真付きでご確認いただけます。（注）株主優待品は、予告なく変更される場合があります。



毎月、旬の水産物を食材に決め、管理栄養士資格を持ったスタッフが様々なジャンルのレシピを考案しております。トップページ右上の「お知らせ」アイコンから進むと、レシピ一覧をご覧いただけます。今晚のメニューに困ったら、ぜひ当社のお魚レシピをご活用ください。

環境・社会への取り組み

当社グループは、水産物等の天然資源を取り扱う事業を営んでいることから、生態系保全をはじめとした環境・社会への取り組みを実施していくことが重要な責務であると認識しております。当社グループの環境・社会への取り組みの一部をSDGsと関連

付けながらご紹介いたします。今後も「大水グループは、自然の恵みに感謝し、古（いにしえ）からの食文化を守り、新たな食の創造に挑戦していきます」という企業理念のもと、サステナビリティを意識した企業経営に努めてまいります。

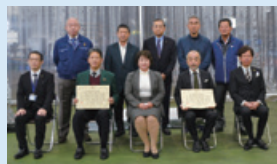
●資源の有効利用への取り組み



当社で使用している窓付き封筒は、従来フィルム部分にプラスチック素材が使われていました。このたびプラスチックごみ削減やリサイクルのしやすさの観点から、紙素材に変更しました。また、当社グループ会社の株式会社京都興産では、全営業車をハイブリッドカーとしており、ガソリン消費量の削減とCO₂排出量の削減に貢献しております。



●福祉施設へ食料品寄付



京都市中央卸売市場では、毎年12月に京都市内の児童福祉施設、障がい者福祉施設及び高齢者福祉施設に対して食料品を寄付しております。同市場の事業者が持ち回りで食料品を手配しており、2021年度は当社京都支社が塩鮭60ケースを手配しました。



●福祉基金への寄付



「とまとちゃん福祉基金」は、大阪いずみ市民生活協同組合様が子ども食堂や学習支援、困窮者自立支援などを行う団体を継続的に支援するため設立した基金です。当社グループ会社の丸魚食品株式会社は、当基金の法人サポーター登録企業であり、人々のQOL (Quality of Life) 向上に寄与しております。



SDGs（持続可能な開発目標）とは、国連サミットで採択された2030年までに達成を目指す国際目標のことです。飢餓、環境破壊などの課題について、17の目標と169のターゲットから構成されています。

会社概要

(2022年3月31日現在)

会社名	株式会社 大水 (DAISUI CO.,LTD.)
事業内容	生鮮、冷凍、加工水産物の卸売事業
設立	1939年4月7日
資本金	2,352百万円
従業員	連結446名 単体336名
事業所	本社・大阪本場支社、東部支社、 北部支社、京都支社、神戸支社、 神戸支社明石営業部、神戸東部支社

取締役及び監査役

(2022年6月24日現在)

代表取締役社長執行役員	山橋英一郎
取締役常務執行役員	湯上信元
取締役常務執行役員	重光誠
取締役常務執行役員	児島實
取締役上席執行役員	片野博雄
取締役(社外取締役)	松葉知幸
取締役(社外取締役)	三谷拓己
常勤監査役(社外監査役)	齋藤守
監査役(社外監査役)	百々季仁
監査役(社外監査役)	小山内雄彦

株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	47,800,000株
発行済株式の総数	13,774,819株
株主数	3,382名
単元株式数	100株

大株主の状況

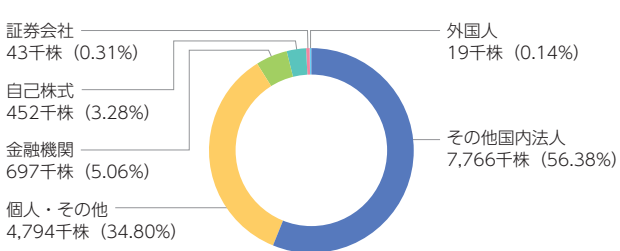
(2022年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本水産株式会社	4,303	32.30
株式会社 極洋	1,180	8.86
農林中央金庫	694	5.20
大水従業員持株会	501	3.76
二チモウ株式会社	450	3.37
中部水産株式会社	259	1.94
寶船冷蔵株式会社	225	1.69
利州株式会社	215	1.61
大起産業株式会社	196	1.47
水野直明	160	1.20

- (注) 1. 当社は、自己株式を上位10位以内に該当する452,214株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況

(2022年3月31日現在)



- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

▶株主メモ

上 場 市 場	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード7538)	
事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定 時 株 主 総 会	毎年6月	
基 準 日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当※実施する場合	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電 話 照 会 先	0120-782-031（フリーダイヤル）	
公 告 方 法	電子公告 (https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7538/7538.html) やむを得ない事由により、電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	

▶株式に関するお問い合わせ先

内 容	お問い合わせ先
単元未満株式の買増、 買取のご請求	株主様の口座のある証券会社 * 口座をお持ちでない株主様 (特別口座の株主様) は 三井住友信託銀行株式会社 0120-782-031
届出住所のご変更	
郵便物の発送に関する ご照会	三井住友信託銀行株式会社 0120-782-031
株式に関するその他の お問い合わせ	

▶単元未満株式の買増、買取請求のお手続きについて

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式については市場で売買できませんが、当社に対して100株となるように買増請求(購入)することができます。また単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することもできます。お手続きの方法等のお問い合わせは、上記お問い合わせ先にお申し出ください。

▶株式等に関するマイナンバーお届出のお願い

株式等に関する税務関係のお手続きに関して、マイナンバーのお届出が必要です。お届出が済んでいない株主様におかれましては、口座をお持ちの証券会社へマイナンバーのお届出をお願いします。



〒553-8550
大阪市福島区野田一丁目1番86号 大阪市中央卸売市場内
代表電話:06-6469-3000 URL:<https://www.daisui.co.jp>

